

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyousho.jp/
e-Mail info@s-koukyousho.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第448号
2019年
10月23日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面・福祉先進国の障害児教育
・9.23 久保山愛吉氏追悼焼津



主張

現高校2年生が主に受ける2021年1月の入試から、大学入試センター試験に代わり「大学入試共通テスト」が始められます。情報化が進む国際社会で活躍する人材育成につなげるのが目的とされ、国語と数学に記述式問題が加わるほか、英語は「読む、聞く、話す、書く」の4技能を評価するとしていきます。「話す、書く」能力評価のために民間の資格・検定試験を利用し、大学は「定水

準以上の成績を出願資格としたり、個別選抜の英語の得点に計算したりして合否判定に使うとしていきます。しかし未だに、様々な問題が解決されておらず、この時点でも明らかになっ

「大学入試改革を問う 誰のための入試改革か」

高校の英語授業が検定対策になることは避けられず、英語嫌いの生徒が増えるのは目に見えています。検定試験は高校3年の6月頃なので入試対策の早期化が更に進み、部活動や学校行事に及ぼす影響も大

高校の英語授業が検定対策になることは避けられず、英語嫌いの生徒が増えるのは目に見えています。検定試験は高校3年の6月頃なので入試対策の早期化が更に進み、部活動や学校行事に及ぼす影響も大

10月31日(木)に第1回教育長交渉

静岡県人事委員会勧告

「この勧告をおおいに活用して、交渉し、改善してください。」 (人事委員会委員長の言葉)

人事評価制度、多忙解消、働きやすい職場づくりなど課題は山積み

＜人事委員会勧告の主な内容＞

- 公民較差
月例給417円(0.11%)一時金0.07月民間が上回る
- 給料表を国基準を考慮して改定
大卒程度初任給1,500円、高卒程度初任給1,900円引上げ
- 一時金(特別給・ボーナス)

| | | 6月期 | 12月期 |
|--------------|--------------|--------------------------|---------------------------------|
| 2019年度 | 期末手当 勤勉手当 | 1.30月(支給済み) 0.925月() | 1.30月(改定なし) 0.975月(現行0.925月) |
| 2020年度 以降 | 期末手当 勤勉手当 | 1.30月 0.95月 | 1.30月 0.95月 |

- 55歳を超える職員には昇級抑制措置
- 多忙化解消には、「業務改革プラン」や「上限ガイドライン」を活用
- 定年の引き上げは、国の検討状況の進捗を注視し、適時的確な対応
- 会計年度任用職員制度の円滑導入、障害者の雇用拡大 など

人事委員会との交渉

静岡県高教組は、県人事委員会と6回の交渉・要請を行い、専門性と業務量に見合った給与の保障、人事評価制度の問題点、定数増による多忙解消などを勧告に盛り込むよう要請してきました。

6年連続改善勧告も 初任給若年層のみ改善

月例給では大卒初任給を1,500円、高卒初任給を1,900円それぞれ引き上げる。これを踏まえ30歳代半ばまでの職員の号給についても所定の改定を行うとしています。

一時金改善分はすべて勤勉手当に

2019年12月の勤勉手当は0.975月の支給となります。今年度から

ワークライフバランス 実現に人員増の言及なし

教職員の多忙化の解消に関しては、県教育委員会の「学校における業務改革プラン」や文部科学省の「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に基づいて作成される県教育委員会の方針に期待するとともに、人事委員会も連携して多忙解消に努めるとしています。

視座

いつも自分に問いかけるんです。生徒に指示をするとき、これは指導なのか、支配なのか? どういうわけか、支配しようとする、威厳が足りないせいもあって、うまくいかないんです。生徒に怒りが込みあげてくることもたまにありますが、それはたいい支配しようとして、支配できないとき。だから、支配じゃなく指導、目標を「指」さして「導」こう、と心がけています。しかし、人間の支配欲は業のようなもの。赤子でさえ、泣いて大人を支配しようとするくらいですから、ナチス台頭期、名著「自由からの逃走」で、フロムは書きました。人間は時に不安や孤独で、自由から逃走して、強い者に服従したくなる、と。同時に、弱い者を支配したくなる、と。その「逃走」がファシズムを招いたことは、ご存じのとおり。「愛は自由と平等に基礎づけられる」ともフロムの言葉。愛は、支配と服従とは対極のもの。幸せは愛に基礎づけられるので、支配からこそ逃走しなくてはならないでしょう。政府は、教育を支配しようとしていきます。教育基本法を改悪して以来、教育関連法を次々と通し、ついには教員評価で、我々の賃金に差をつけ、管理統制を強めようとしています。教員評価制度反対のたたかいは、支配とのたたかい、さらには、学校に愛を取り戻すたたかいです。秋、県教委との交渉のシーズン到来です。団結してがんばらう!

